

令和 6 年奥能登豪雨に係る  
第 1 3 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 現在も、被災地の支援にご尽力いただいている全ての関係者の皆さんに対し、改めて感謝申し上げます。
- 2 次避難については、輪島市から、住民への意向調査の結果、最終的に 3 5 世帯 6 3 人の希望があったとの報告があった。

これを受け、県では、来週 7 日（月）から、輪島市内において、対面による健康チェックを行い、正式に 2 次避難の受付をスタートさせることとした。

受付後は、1 0 月中旬までに、できるだけ速やかにホテル・旅館での受け入れを開始したいと考えており、受け入れ先については、輪島市長の要請も踏まえ、七尾市内で調整を行っている。引き続き、スムーズな受け入れに向け、万全を期してほしい。

- 農地については、河川の氾濫に伴い、約 9 5 0 ha で冠水が発生し、このうち、区画の形状が大きく変化したり、土砂・流木が堆積する被害が約 4 0 0 ha で発生していることが現時点で確認された。

これらの被害について、被害の程度に応じて応急復旧工事を進め、来春、少しでも多くの農地で耕作ができるよう、春までに復旧が見込める農地や水路などを、本日までに整理した。

これに基づき、来週から市町やＪＡ、工事関係者などと協議を進め、一日も早く応急工事に着手したい。

詳細については、この後、農林水産部長から説明をお願いします。

- ボランティアについては、これまで輪島市・珠洲市・能登町の３市町において、延べ１，２１２人にご参加いただいている。この場を借りて、改めて深く感謝申し上げる。

昨日と本日は雨天の影響で活動を中止しているが、明日以降は予定通りに実施することとしており、現在、特設サイトで、１０月５日（土）から１４日（月）までの間で、約２千人を募集している。

また、より多くの方に参加いただくため、１４日（月）には、小松市のご協力もいただき、小松市役所駐車場発のボランティアバスを運行することとした。

引き続き、一人でも多くのボランティアの皆さまのご支援をお願いしたい。

## ２．会議最後の発言

- 气象台からの説明では、今後、雨は治まる見込みとのことだが、これまで降り続いた雨により、土砂災害や河川の増水、低いところの浸水に注意・警戒する必要がある。

各市町では、土砂災害等の予兆を見逃さず、早めに避難指示を発令するほか、避難情報が、確実に住民に届くよう配慮していただきたい。

避難所や仮設住宅など、以前と違う場所にお住まいの方は、改めてハザードマップなどを確認し、早めの対応をお願いしたい。

- 今後、被災家屋の被害認定調査が本格化する。日本不動産鑑定士協会連合会から派遣いただいた専門家の皆様のご協力もいただき、迅速かつ的確な罹災証明書の発行につなげていただきたい。
- 明日は、石破総理、坂井防災担当大臣が、豪雨被害の視察のために奥能登に入られる。私も総理に同行するとともに、被災の状況を説明し、手厚い支援を要望したいと考えている。

特に土砂の撤去に関しては、国土交通省、農林水産省、環境省の補助金を一体化して運用してもらえないか既に内閣府防災担当にお願いをしているが、明日、改めて総理にも直接お伝えをしたい。